

松山まちなか瓦版

No. 16

発行 / 松山市中心市街地活性化協議会
■松山商工会議所 TEL 089(941)4111
■まちづくり松山 TEL 089(998)3533
発行日 / 2014年3月31日



テーマ別5種類のマップが完成しました! 街の魅力を発掘! 美商女をさがしてみて!

松山市の道後、大街道両商店街の女性経営者や地元の大学生が街の魅力を紹介する案内マップを作成しました。街を紹介するためのマップはこれまでにもいくつかありましたが、今回、特別に違うのは業者に委託してマップを作つてもらうのではなく、自分たちの手でつくっていくということ。マップづくりに関しては素人ですが「街を愛する思いは誰にも負けません!」という女性陣が中心になり、また、千葉県柏市で市民参画型の手づくりマップを武器の一つにまちづくりの活動を行っている藤田とし子さんをアドバイザーに迎え、マップづくりは進みました。参加者からは「マップづくりで近く所店舗との交流も深まった。これを機会に商店街同士の交流も深めていきたい」という声も頂きました。

まちとひと感動のデザイン研究所代表

藤田とし子さんのお話を聞いてきました!



藤田とし子氏●プロフィール

内閣官房地域活性化伝道師、経済産業省タウンプロデューサー、千葉県柏市柏市プランニングアドバイザー

東京・日本橋生まれ。大学を卒業され、西友勤務後、子育てのために退社。その後、地域情報紙記者を経て、柏市インフォメーションセンターの事務局長として、「もっと楽しい、もっと元気なまちづくり」をテーマに、市民ボランティア250人とともに様々なイベントを開催。市民参加型手づくりマップ『BUZZ☆コミMAP』や『ウラカシMAP』が大ブレイク。市中心街地にぎわいと回遊性創出の手法として、高い評価を得る。

『美商女マップ』の作成に当たって、指導をしてくださった藤田とし子先生にマップづくりについてお話しをお聞きしました。

わくわくマップを見て“わくわく”しない現実!

まちづくりの一環でマップづくりをする地域は多いと思います。その中でよく「○○商店街のわくわくマップ」なんていうマップが出来ていたりしていますが、それを手にとって見てみると、全然わくわくしない!なんて事がありますか?“わくわく”“ピカイチ”“とっておき”という言葉を使えば、そのマップが見る人を本当に“わくわく”させることができるかというと、それは全く別問題です。それでは、どうすれば本当に人を“わくわく”させることのできるマップを作ることができるのでしょう。ここで大切なことは街を見る視点を鍛えることです。

街をほじくり返すことから始まるマップづくり

ある饅頭を紹介するとします。マップをつくる人たちが、その饅頭がやっぱり私たちの街の自慢だ!みんなにもっと知つてもらいたい!と考えれば、その饅頭を紹介することに何の問題もないのですが、大切なのはその紹介の仕方です。

例えば「○○菓子店の△△饅頭は甘さ控えめでとてもおいしい」では、あまりにも当たり前、わくわく感は生まれません。しかし「△△饅頭、実は季節に合わせて、中のあんこの甘さを微妙に変えているらしい…」とか、「△△饅頭、意外なことにバターを塗ってオーブンでチンして食べると美味しいらしい」なんていう情報は、「それって!?」「食べてみたい!」と思わす力があると思いませんか?紹介するモノを真正面から伝えるのではなく、右から左から、上から下から、時には裏からも見てみる、そうすることで、そのモノの本当の魅力が見えてきます。知る人ぞ知る饅頭の魅力を伝えることは、きっと、相手のわくわく感を駆り立てことにつながるでしょう。

魅力発見!魅力発掘!なんて言葉もよく使う言葉ですが、そこで紹介された情報がありきたりの既存情報の積み重ねでは発見でも発掘でもありません。本当の意味で見る人をわくわくさせることができる魅力は、それぞれが街の中に出て、街をほじくり返すことから始まるのです。

個性豊かな
マップが
完成しました!

- 1)美商女マップ(道後商店街編)
- 2)美商女マップ(大街道商店街編)
- 3)松山大学生による
「小説 坊ちゃん」マップ
- 4)松山大学生による洋服店マップ
- 5)松山大学生によるラーメンマップ



お城下スプリングフェスタ 2014

開催

今年もお城下で春の一大イベントを開催！

3月21日(金・祝)～23日(日)の3日間、中央商店街とその周辺の若手経営者等で組織する実行委員会の企画運営による「お城下スプリングフェスタ2014」が開催されました。

このフェスタは中央商店街の振興組合や地元百貨店らが主催する各種イベントで構成され、昨年度に引き続き2回目の開催となります。ファミリー層向けの賑わい創出イベントを複合的に開催することで、中心市街地への来街を促し、まちの中心部に滞留空間を設けることで、まちなかを回遊していただこうとするものです。

イベント盛りだくさんで中央商店街に人々の笑顔が溢れる3日間！

●じもキャラマーチ(21～23日)

オープニングイベントとして愛媛・松山で活躍する地元キャラクター“じもキャラ”的パレードで幕を開けました。この“じもキャラ”は、連日、銀天街アーケード内の“じもキャラスポット”に登場し、たくさんの子どもたちが記念撮影を撮ったり、触れ合ったりして楽しんでいました。



●なめこといっしょに大冒険inお城下(21～23日)



“んふんふ♪なめこが春の陽気に誘われて松山にやってきた！”いまや絶大な人気を誇るキャラクター“なめこ”が、なんとお城下に大増殖。「謎解きなめこウォーク」では、マップを広げた子どもたちや家族連れが、試行錯誤しながら隠れたなめこを探す微笑ましい姿が印象的でした。その他、なめこと触れ合える「ぎんよんパーク」やステージイベント「Let'sなめこダンス」など、まさになめこまみれの3Days!でした。

●お城下ホコ天パーク(23日)

銀天街と大街道をつなぐ千舟町通り。この一部エリア(旧ベスト電器跡地～みずほ銀行付近)を歩行者天国にして様々なイベントが開催されました。特設ステージでは、子供向けイベントやアーティストライブ、松山まつり野球拳おどりの披露などで盛り上りました。

また、「防災体験パーク」や「からあげ王座決定戦EXTRA」が開幕。お城下自慢のからあげ店が集合した食べ比べによるコンテスト形式ということもあり、各店舗とも長蛇の列で賑わっていました。審査結果は、大分県からはるばる飛び入り参戦の「元祖中津からあげもり山」が見事栄えある王座を手にしました。



その他にも「愛媛FCミニゲームコーナー」や跳び箱ナンバー1決定戦「モンスターMAX」、「お城下コッコ広場」などが随時開催されました。今回の中央商店街、千舟町、地元百貨店が一体となった3日間のイベントは、来街者に中心市街地をより身近に感じて頂き、再来街のキッカケとなり得る良い機会となりました。